

2 月 定 例 会 一 般 質 問 要 旨

1 番 目	1 番 議 員 仲 間 光 枝 議 員 (南 城 市)
1. 大規模災害時における課題と求められる役割について	<p>元日早々、多くの尊い命を奪った能登半島地震。大規模地震は日本中どこでも起こり得ると誰でも頭ではわかっているはずですが、やはり、直後の様子からは、自分の住む地域や自分事となっていなかった状況も垣間見えます。</p> <p>自治体もそうですが、これまで多くの大規模地震に対応してきたはずの国の対応についても、これまで蓄積されてきたはずの教訓やノウハウが十分に発揮出来ていたとは思えず、初動の遅さも指摘されました。</p> <p>発災時に必要な事、モノ、そして消防が果たす役割について再考の機会にしたいと思います。以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1、今回の能登半島地震から得られた教訓はあるか2、当消防における訓練、機能、人員体制等消防力の現状認識及びさらなる充実強化の必要性についての見解3、DMAT について（当消防を含めた県内の取組み状況）4、災害関連死を防ぐために消防が出来ること出来ないこと5、命を守る行動、備えに関する住民への啓発活動等の取組みについての見解
2. 給与誤支給是正処理の進捗状況について	<p>令和5年10月定例会における一般質問において細かく確認しましたが、同意書を提出したのは過大支給職員26名中5名、過少支給職員6名中5名のみであるとの答弁でした。</p> <p>昇格基準に対する不満、対象期間の短縮や算定方法に納得出来ない等の意見があり、理解を得られるようさらに努力していくとの事でしたが、その後の進捗状況を伺います。</p>

2 月 定 例 会 一 般 質 問 要 旨

2 番 目	3 番 議 員 森 山 悟 議 員 (南 城 市)
1. 今 後 の 定 員 適 正 化 計 画 に つ い て	<p>島尻消防組合定員適正化計画は、令和元年～令和4年度で終了になりましたが、今後の計画について伺う。</p> <p>①佐敷出張所の人員の配置について伺う。</p> <p>②八重瀬出張所の人員配置について伺う。</p>
2. 災 害 時 に 対 す る 対 応 に つ い て	<p>全国でも自然災害により多大な影響を受けている状況の中、沖縄県でいつ起こるか分からない地震・津波などの対応に出来る対策など、訓練や備えを行う必要があると思ひ以下について伺う。</p> <p>①地震が起きて水道管破裂など、火災現場での水の確保をどの様に行っていくのかについて伺う。</p> <p>②津波対応の対策・訓練など行っているのか伺う。</p>
3. 自 然 災 害 対 策 に つ い て	<p>令和5年8月1日、台風6号で南城市・八重瀬町でも多大な影響があり、インフラなどが使えない状況があり今後の対策として伺います。</p> <p>①島尻消防組合として久高島に緊急対応無線機の設置について伺う。</p> <p>②久高島に緊急搬送車を準備出来ないか伺う。</p>

2月定例会一般質問要旨

3番目	2番議員 宮城 勝也 議員（八重瀬町）
1. 救急車の有料化について	<p>三重県松阪市は、救急車で搬送された患者が入院に至らなかった場合、選定療養費として7,700円を徴収する方針を示している。救急出動数が2年連続で過去最多を更新し、そのうち56.6%が入院を必要としない軽症者であるとのこと。医療体制の負担軽減を目指、受診の適正化を促す狙いがあるとのことである。</p> <p>この取り組みについての所見を伺う。</p>
2. デジタル化について	<p>南城市、八重瀬町議会では、全議員にタブレットを配布し、議案書や資料等をデータで提供している。一方、当組合議会は、紙の資料が職員によって巡回配布されている。市・町議会タブレットの活用、資料データ提供など、デジタル化を図ることで、ペーパーレス化や業務効率向上が期待できるがと考えるが、所見を伺う。</p>